

山中湖 文学の森 三島由紀夫文学館  
第12回 レイクサロン

Mishima Yukio Literary museum  
— Lake Salon vol.12  
\\Mishima Yukio × sports///

2016.10.22 (土)

# 三島由紀夫とスポーツ

《受付開始 12:00》  
13:00 ~ 16:30 頃  
会場：山中湖畔荘 清溪 第1会議室

特別講師



たまり ひとし  
玉利 齊  
(JBBF会長)  
講演 13:15 ~

特別講師



やまうちゆきひと  
山内 由紀人  
(文芸評論家)  
講演 14:00 ~

ディスカッション

佐藤秀明 (近畿大学教授) 山中剛史 (中央大学兼任講師)

前日までにお申込みいただいた方には、三島由紀夫がこよなく愛した  
【日新堂のマドレーヌ】を進呈いたします！ (数量限定・お一人様一個)

申込方法 電子メール・FAX・往復ハガキのいずれかで、三島由紀夫文学館までお申込みください。  
お申込みの際には、①住所 ②氏名 ③電話・FAX番号 を必ず明記してください。  
複数名でお申込みの場合もそれぞれの①②③の明記をお願いいたします。

参加費 1000円 (ご来場の際に受付にてお支払ください)

締切 平成28年10月21日(土) (往復ハガキの場合は10月14日必着)

- ※ 受付は先着順。定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- ※ お申込みには必ず返信いたしますので、4日以上 (往復はがきは7日以上) 経っても返信がない場合は、お手数ですが再度お問い合わせください。
- ※ 人数に余裕がある場合は当日参加も可能です。

申込先 山中湖文学の森 三島由紀夫文学館  
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296 FAX0555-20-2656 電子メール info@mishimayukio.jp



## 山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296 電話 0555-20-2655 FAX0555-20-2656 http://www.mishimayukio.jp

入館料：大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円 \*団体は10名様以上で50円割引 \*三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館との共通チケット / 開館時間：10時～16時30分 (入館は16時まで)  
休館日：月曜日 (祝祭日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日、資料点検日 (不定期) \*4月28日～5月6日の間は月曜日も開館

主催：山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会



特別講師

玉利 齊 Tamari Hitoshi

1933年生まれ。1955年早稲田大学政治経済学部在学中に、日本ボディビル連盟（現、公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟）を設立し常務理事に就任。健康増進としてのスポーツ拡充に努め、1975年公益財

団法人日本健康スポーツ連盟を設立、理事長に就任。現在、現職の他に、公益財団法人日本プロスポーツ協会専務理事、NPO 法人ワールドゲームズ協会副会長、公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟会長、公益財団法人日本オリンピック委員会評議員、公益財団法人三菱養和会評議員、公益財団法人日本ユニセフ協会評議員等を務める。

“今回は、三島由紀夫文学館第12回レイクサロンにお招き頂き有難うございました。何分にも、日本の文学界に不滅の光芒を放って一瞬に消え去った不世出の天才についてのことで、私がどこまでお話し出来るか確たる自信はございません。ただ、昭和30年という日本が敗戦の虚脱感から、漸く新しい時代に向かい始めた時に青春を過ごした一人として、三島さんとの出会いは私にも鮮烈な印象を与え、その後の私の人生の歩みに大きな指針を受けたことは間違いありません。私と三島さんとの触れ合いはボディビルを通してですので、本当にバーベルと一緒に汗を流したのは、三島邸の庭で過ごした昭和30年の夏から31年の冬迄の半年位のことです。その後45年に亡くなる迄は、年に数回お会いする程度でしたが、肉体が逞しくなる程精神も活力に満ち、行動も変化していったのは皆様ご承知の通りで、私が直に触れた三島さんを感じた有のままをお話ししてみたいと思います。”

レイクサロンとは

三島由紀夫文学の「研究と普及」を目的として、講演と聴講者とのフリートークを中心に、毎年開催しています。三島由紀夫に関心ある方々の出会いとその魅力を語り合い、かつ、新たな問題提起の場となるよう努めております。今年「三島由紀夫とスポーツ」と題して、玉利齊氏と山内由紀人氏の両名を迎え、それぞれの視点から三島由紀夫について語っていただきます。



当日プログラム

- 13:00 三島由紀夫文学館館長あいさつ
- 13:15 講演 特別講師 玉利齊氏
- 14:00 講演 特別講師 山内由紀人氏
- 14:45 休憩
- 15:05 質疑応答 参加者ディスカッション
- 16:30 終了予定



特別講師

山内 由紀人 Yamauchi Yukihito

1952年、東京都生まれ。立教大学文学部卒。文芸評論家。1984年、「生きられた自我 高橋たか子論」で第27回群像新人文学賞評論部門優秀作受賞。著書に『神と出会う高橋たか子論』（書肆山田）、『三島由

紀夫 vs. 司馬遼太郎 戦後精神と近代』（河出書房新社）、『三島由紀夫、左手に映画』（同前）、『三島由紀夫の肉体』（同前）、編著に『三島由紀夫 映画論集成』（ワイズ出版）などがある。

“昭和三十年、『仮面の告白』『禁色』『潮騒』などの話題作を連発し、人気作家になっていた三島由紀夫が、当時もっとも関心を持っていたのはボディビルでした。その後ボディビルに飽き足らず、ボクシング、剣道、居合、空手とさまざまなスポーツに挑戦し、東京オリンピックで特派記者を務めるまでのスポーツ好きとなりました。幼少の頃から虚弱体質だった三島にとって、スポーツは青春への回帰という特別な意味をもっていたのです。三島はどのようにスポーツに熱中し、それによって得られた肉体は、どのように文学と関わっていったのか。今回の講演では、三島の生涯の一つの物語として、スポーツとの深い関わりを考えてみたいと思います。”

企画展「三島文学の舞台・映像の展開 —『金閣寺』と『卒塔婆小町』—」  
徳富蘇峰館 企画展示室にて開催中!

【交通のご案内】

- 路線バス ▶ 富士山駅（富士吉田）から25分、御殿場駅から40分  
文学の森公園前バス停下車 徒歩5分
- 高速バス ▶ 中央高速バスで山中湖（旭日丘バスターミナル）下車 徒歩15分
- マイカー等 ▶ 山中湖ICから国道138号線を山中湖方面へ4km

【開館時間】 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

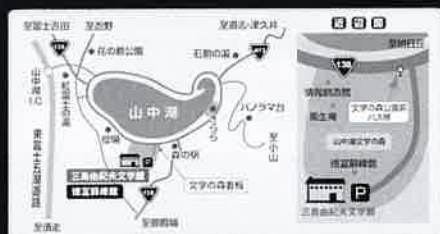
【入館料】

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	500	300	100
団体	450	250	50

【休館日】

月曜日（祝祭日の場合はその翌日）、12月29日～1月3日、資料点検日（不定期）  
※4月28日～5月6日の間は月曜日も開館

※団体は10名以上 ※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット



〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296  
TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656  
http://www.mishimayukio.jp